

予算決算委員会産業建設分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和 元年5月8日 13時28分開会 令和 元年5月8日 17時30分閉会
2. 場 所	委員会室
3. 出席議員	大上和則座長、吉田知代副座長、 渡辺拓道委員、園田依子委員、足立義則委員、國里修久委員
4. 会議に付した事件	議案第40号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

10. 議事の経過

開会 13:28

【分科会】

大上座長 開会宣告

大上座長 あいさつ

■日程第1 議案第40号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

農都創造部

倉部長 あいさつ

【主な説明】

農都創造部より説明

【主な質疑】

渡辺委員 観光費に関し、観光用駐車場用地として取得するのか。

農都創造部 観光用駐車場として取得したい。倉庫内の3つの区画のうち2か所については、イベントの資材置場として利用したい。

足立委員 本篠山駐車場の跡地は何台止められるのか。

農都創造部 150台止められる。

足立委員 三の丸西駐車場の南側に、常時停車させている車両を10台でも20台でもこの計画地に移動させることができれば、その分観光客が駐車できることになり有効活用できると考えるがどうか。

農都創造部 大きなイベント時は、南側に公用車を移動させている。土日は計画地に移動させることも考えられるが、土日に駐車場が満車になることはあ

	まりない。管財課や総務課等の総務部門と調整しながら、今後活用方策を検討していきたい。
大上座長	取得予定地であるが、既存の出入口をなくして、新たに一カ所の出入口とするのか。
農都創造部	既存のフェンスからの進入は計画せず、新たに出入り口を一カ所設け、通常はここを出入り口として利用する。現在ある2カ所の出入り口は、イベント時に使用できるよう残しておき、必要に応じ3ヶ所出入り口としてイベント時には活用したい。
大上座長	駐車ラインを設けるとのことだが、地面のアスファルト舗装の耐用年数はどれぐらいあり、駐車場として使用することに支障はないのか。
農都創造部	耐用年数は分からないが、業者に確認してもらったところ、駐車場として使用することに特に問題はないと聞いている。
渡辺委員	土地の北側の用地と道路との形状はどうなっているのか。
農都創造部	用地と道路の間に水路が有り、水路の内側はフェンス、空き地、駐車スペースとなっている。
渡辺委員	北側の道路から車の侵入は可能か。
農都創造部	可能ではあるが、道路幅が広くないため危険性はある。現段階では活用を考えていない。
園田委員	料金所は設けるのか。
農都創造部	料金所は考えていない。無料の駐車場として考えている。
農都創造部	基本的にイベント時に駐車場として使用する。普段はチェーンで、封鎖する予定である。
渡辺委員	イベント時に駐車場として活用するとのことだが、年間の延べ台数はどれぐらいを見込んでいるのか。
農都創造部	イベント時の使用に関していえば、デカンショ祭りや味まつり、ABCマラソンなど600台+αと考えている。
大上座長	既存である倉庫の改修はどの程度まで考えているのか。
農都創造部	将来的には、倉庫を中2階に改修しイベント資材を置けるようにするなどして2階部分を設け、空間を有効に活用できるように検討していきたい。
大上座長	雨漏りなどで水浸しになるようなことはないのか。
農都創造部	屋根は明かり取りがあり、その箇所は補修が必要と考えている。それ以外では、特に見当たらない。
足立委員	なぜ、普通財産として管財課で取得しないのか。
農都創造部	用地取得の目的が、観光用駐車場として整備することと、イベント資材置場で活用することから商工観光課で計上することとなった。

- 足立委員 将来的に、イベント時の使用のみだけではなく、駐車場の利用客を増やしていく工夫やPRをしっかりとって駐車を利用いただけるよう、目標をしっかりとっていただきたい。
- 農都創造部 市内への誘導の交通方法が課題と考えている。担当部門だけでなく、市全体で有効活用を考えていきたい。
- 大上委員 路面の状況（水たまり、穴ぼこ等）はどうか。
- 農都創造部 現状では、雨がたまることはないと考えている。
- 渡辺委員 観光用駐車場として取得したいということであるが、活用方策は今後検討するとの答弁である。順番がおかしいのではないかと。
- 農都創造部 本篠山の駐車場の代替えが大目的である。他の活用方法があるかもしれないので、今後有効に活用するために検討していきたい。

【主な説明】

農都創造部より説明

【主な質疑】

- 渡辺委員 農業振興費に関し、事業計画では、損益分岐点を 8,800 万円としており、最低でも現状の 3 倍の農産物を扱うこととなる。木材市場跡地の倉庫は、イベント用の資材置場として活用する一方、荷受やせりを行うスペースとして活用するとの説明であった。荷受する農産物が増えた場合、市場としてのスペース確保が可能なのか。
- 農都創造部 集荷量が増えれば、市場としてのスペースが必要となる。現状、一階建ての倉庫は、天井の高さにかなりゆとりがある。荷受けが最盛期となる 10 月の状況を踏まえ、市場関係者の意見を聞き検討していきたい。
- 渡辺委員 市場関係者で GAP 取得も考えているならば、生産管理工程でのチェック体制は必要であり、倉庫の中で食べ物を流通させることはできない。食品を扱うということは、色々な条件があるので検討して欲しい。
- 吉田副座長 事務所の賃料を支援するより、事務所を設置した方が市費節減となるのではないかと。
- 農都創造部 事務所と市場は近い方が利便性もいいため、市場開業者からも事務所となるコンテナハウスの設置をしてもいいかとの提案も聞いている。今後支援することが決定すれば、検討していきたい。
- 大上座長 事務所には、トイレや手洗いなどの水回りは確保されているのか。
- 農都創造部 解体予定の事務所には、手洗いする水道があったが、トイレはなかった。市場開業者とも現場確認し、やむを得ないとの意見であったが、利用状況を見て必要があれば対策を検討していきたい。

渡辺委員	現状や事業計画を見る限り、運営は厳しいと思う。旧来の市場の考え方で、経営は成り立たないと思われる。生産者には、研修により量や質の対策を講じられているが、加えて、集荷した農産物を市外で販売するための出口を広げていくことが大切であると考え。A店では、神戸で定期的に外販している。こうした仲買人へ支援してはどうか。
農都創造部	仲買人など市外へ販売する者と連携した出口拡大への支援も検討していきたい。
大上座長	市場開業者は、外販をしないという考え方ではなかったか。
農都創造部	外販はしないのではなく、仲買人を大切にして、必要に応じてバランスをみながら外販するという考え方である。
渡辺委員	小売店でも少しの仕掛けで外販していくと思われる。農業振興として出口拡大に向けた支援を進めてほしい。
大上座長	閑散期の対策はどうするのか。例えば、神戸の卸売市場を活用した対応は考えているのか。
農都創造部	1月に最も売上げが少ない状況である。閑散期の対策より9月からの最盛期に如何に売上げを伸ばすかをポイントとされている。但し、閑散期に購入希望があるものや、買い取りの可能性が高いものは、神戸卸売市場から調達し売上げ増につなげる予定である。
足立委員	6月1日に新たな場所で市場を開業するにあたり、今後のスケジュールを確認したい。
農都創造部	契約内容については、今後支援することが決定すれば、市場開業者と協議を行う。5月28日の本会議で決定されれば、その後、市場開業者から補助金交付申請の提出、補助金の交付決定の事務を行い、新たな場所で6月1日から市場運営が開始される運びとなる。 なお、事業の継続性の面では、交付決定通知で補助金返還等の内容を付すことにより担保したいと考えている。
農都創造部	継続性に向けた担保をどうするかは、今後内部で協議する。
■議員協議	
足立委員	通常であれば、公有財産の取得と市場の運営補助と別々の審査となるが、同時に提出されたことにより用地取得の主たる目的がわかりにくい。土地も倉庫も、あればあるに越したことはない。ただ、今の市として必要なかどうかの判断はしなくてはならない。
園田委員	もともと市場の運営の補助要望は、人件費だけで市場の開業場所は市が提供してくれる場所であればどこでもいいというような話であった。開業者から、この場所で開設したいというような話であれば、市場運営

	者のやる気も見えてくるのかなとも思うが。
足立委員	今回の提案で、本篠山跡地の代替駐車場の確保、イベント用資材置場、市場の開業場所の確保との3つの課題が解決することになる。市としては、いい物件を取得すると考えているのではないか。
渡辺委員	駐車場だけの目的で取得するとしても、バスのルート上の空き地もあるはずで、停留所を設けるとしても安く整備もできるはずだ。その上で、あの用地を購入するということであれば、市の方針が明確になっていないように感じる。観光を目的として取得するなら、観光に力をいれていくという意気込みや、市場の開設場所として利用するのであれば農業振興の拠点とするというような意気込みが感じられない。
園田委員	市場として成功させる話であれば、駐車場の敷地全部使用するぐらいの規模でないと、市場として盛り上がってこないと思う。 駐車場としても無料で使用するようであるし。
足立委員	現状の課題の解決だけで取得するのではなく、この用地を取得することで起爆剤となればいいのだが。
渡辺委員	もう一度部長を呼んで、用地取得の目的を明確に説明してもらってはどうか。
足立委員	確認しておいてもいいと思われる。
渡辺委員	市として頑張っていくというような方針を見せてもらわないと、議会が認めたから用地取得しましたというのも困る。
足立委員	多目的用地を取得するのではないと説明をきいているが、卸売市場を開設するための用地取得にしか聞こえない。用地取得の目的をはっきり何かということを確認しておいた方がいい。
園田委員	あの用地を取得することだけによって、市場運営がうまくいくとも思えない。
足立委員	出荷協議会もでき、前回の要望時の話とは少し状況が変わっているように感じる。
渡辺委員	市場開業者も一旦補助金が打ち切られたことにより、自分たちでやらないといけないことはやらないといけないというように動き出している。何とか自分達でやっていかないとだめだという意識が出てきた。生産者も、市場運営を応援していかないといけないという意識も出てきた。量はないが、品質は日に日によくなってきた。
足立委員	用地の購入費だけでなく、今後、年々施設の改修費もかかってくる。
渡辺委員	生鮮品を扱う場所で、手洗い場がないというのは基本施設としてどうかと思う。水が使えないというのは問題である。
足立委員	衛生上も問題があるような気がする。それで市場の開設許可がもらえ

るのか心配である。

渡辺委員 今回の明確な提案理由を確認してはどうか。

大上座長 部長に確認する。

議案第40号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

＝部長への質問 有＝

大上座長 用地取得の目的を明確に再度説明してほしい。木材市場の跡地の取得目的は、観光用駐車場用地の代替え地の確保という説明であるが、卸売市場の開設場所、イベント資材の置場所等にも活用するといった様々な説明があり、一貫した市としての方針が見えて来ない。用地購入の目的を明確に説明願う。

農都創造部 駐車場は、本篠山駅跡地の代替え駐車場として取得する。敷地全体の利活用として決定しているのは、既設の建屋の中については、イベント用資材置場、利活用の候補のひとつとして、市場の開設をそこで行いたいと当面は考えている。

渡辺委員 平地のアスファルト舗装されている部分については、駐車場として適地である。更に、購入予定の敷地内に建屋がある。建屋の有効活用として、卸売市場の開設場所の課題及びイベント資材置場の課題を解消できる。イベントのためだけの駐車場用地の取得であれば、夏までに取得でよかったと思うが、既設の建屋の有効活用も考えているので、現時点の卸売市場の開場場所の借入期限が来る前に用地を取得したいということでのいいのか。

農都創造部 今回の用地取得の理由としてまず1点目は、駐車場用地としては、整備も必要なことから若干の余裕をもって取得したいということ。2点目は、B社の家畜市場を借り、資材置場として使用しているが、早急に移動させたいということ。3点目としては、これで確保することが出来れば、卸売市場の今の開設場所が5月末で使用できなくなるので、次の開業場所として利活用できると考えている。建屋全体を卸売市場で使用するとは考えておらず、1区画のみ使用する予定である。事前に市場開業者にもスペースは、確認してもらって了承を得ている。

足立委員 今使用しているスペースよりも広がるのか。

農都創造部 面積で言えばさほど変わらない。

大上座長 生鮮品を扱うので、手洗い場所は必要ではないのか。

農都創造部 建物の南側の外には、水道がある。これからの協議にはなるが、開業

者自ら整備してもらわないといけないこともあると考えている。トイレについても、道路側のところに柵があり、仮設のトイレを設置することは出来ないかということも検討している。イベント用駐車場として、トイレが無いのもどうかという思いもあるので、トイレは今後検討しないといけないかを感じている。

議案第40号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

—市長等への質問 なし—

■意向確認

議案第40号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

—全員賛成—

大上座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任願いたい。

—異議なし—

吉田副委員長 あいさつ

閉会 17:30